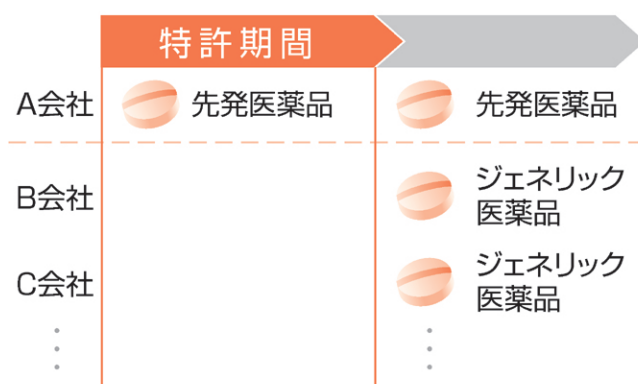


ジェネリック医薬品（後発医薬品）

● ジェネリック医薬品とは？

ジェネリック医薬品とは厚生労働省が最初に開発された薬（先発医薬品）と同等と認めた医薬品です。先発医薬品の特許期間が切れると、ほかのメーカーでも、有効成分が同じで、同じ効果を持つ薬を作ることができます。この薬は先発医薬品に比べて低価格です。



● 成分について

有効成分は同じですが、その他の添加物（甘味料など）が異なるため、薬の大きさや味、においが変わることがあります。

● 種類について

1つの先発医薬品に対して、複数のジェネリック医薬品がある場合があります。また、先発医薬品のみになり、ジェネリック医薬品がない場合もあります。

● 流通について

流通の状態により、薬局ですぐに用意できない薬もあります。詳しくは薬剤師に相談してください。

● 値段について

ジェネリック医薬品の方が低価格になります。ただし、保険の負担割合（2割、3割など）の自己負担分にするともまったく変わらなかったり、変わっても小額だったりする場合があります。どのくらい安くなるのかを知りたい場合は、薬剤師に聞いてください。



お子さんの場合は、味やにおいが変わるとのみやすさも変わり、服用状況に影響する場合があります。

ジェネリック医薬品に関して聞きたいことや不安などがあれば、ぜひ薬剤師に相談してください。

